



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月2日  
上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
コード番号 4507 URL http://www.shionogi.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功  
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161  
四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	68,965	△3.4	18,794	△34.2	22,941	△30.5	32,198	31.4	32,238	31.6	33,935	47.9
2021年3月期第1四半期	71,402	△11.6	28,575	△9.8	33,022	△6.6	24,497	△9.8	24,495	△9.7	22,940	204.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	106.94	106.91
2021年3月期第1四半期	80.62	80.58

(注) 2021年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第1四半期の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,000,354	881,896	864,163	86.4
2021年3月期	998,992	864,550	846,108	84.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	53.00	—	55.00	108.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	135,000	△9.1	38,500	△33.9	48,500	△30.9	49,500	△5.4	164.20
通期	290,000	△2.4	90,000	△23.4	115,000	△19.6	100,000	△10.6	331.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	311,586,165株	2021年3月期	311,586,165株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	10,122,654株	2021年3月期	10,122,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	301,463,533株	2021年3月期1Q	303,833,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2021年8月2日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	増減率（%）
売上収益	68,965	71,402	△2,436	△3.4
営業利益	18,794	28,575	△9,780	△34.2
コア営業利益 ※	19,384	25,854	△6,470	△25.0
税引前四半期利益	22,941	33,022	△10,080	△30.5
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	32,238	24,495	7,743	31.6

※会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益となります。

売上収益につきましては、前年同期比3.4%の減収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、インチュニブの売上収益が拡大した結果、前年同期比5.1%の増収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましても、多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すセフィデロコル（米国の製品名：Fetroja、欧州の製品名：Feteroja）が欧米で好調に推移したことに加え、米国において、FORTAMETの販売権等の移管に関する一時金を受領した結果、前年同期比70.0%の増収となりました。製造受託による売上収益につきましては、医薬品製造を請け負うナガセ医薬品の連結子会社化により、前年同期比30.2%の増収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブによる抗HIV薬テビケイ、トリーメク、ジャルカ及びドウベイトのグローバル販売は引き続き堅調であるものの、為替の影響及び国別の販売動向の変動の結果、同社からのロイヤリティー収入は前年同期比6.8%の減収となりました。またアストラゼネカからのクレストールのロイヤリティー収入につきましては、契約に基づき2020年度第4四半期連結会計期間より受領額が減少したことから、ロイヤリティー収入全体では前年同期比22.1%の減収となりました。

利益面では、営業利益につきましては、セフィデロコルの販売活動費用の増加、新型コロナウイルスに対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの研究開発投資により販売費及び一般管理費、研究開発費が増加した結果、前年同期比34.2%の減少となりました。コア営業利益は、有形固定資産の除却損や法人税等の還付加算金等を調整した結果、営業利益とほぼ同様の実績となり前年同期比で25.0%の減少となりました。税引前四半期利益につきましては、営業利益の減少に伴い、前年同期比30.5%の減少となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領した結果、前年同期比31.6%の増収となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1兆3億54百万円で、前連結会計年度末に比べて13億62百万円増加しました。

非流動資産は、仕掛研究開発資産（無形資産に含みます）が増加した一方で、時価の下落等によるその他の金融資産の減少により4,421億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億86百万円の減少となりました。流動資産は、5,581億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億48百万円増加しました。

資本については8,818億96百万円となり、四半期利益の計上、配当金の支払の結果、前連結会計年度末に比べて173億45百万円増加しました。

負債については1,184億58百万円で、前連結会計年度末に比べて159億83百万円減少しました。

非流動負債は、19億56百万円の減少となりました。流動負債は、主に法人税等の納付による未払法人所得税の減少等の結果、140億26百万円の減少となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が減少した一方、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領したため、前年同期に比べ59億81百万円多い202億66百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増減、余資運用に係る有価証券の取得等により、前年同期に比べ393億78百万円多い734億13百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額は増加した一方、前第1四半期連結累計期間は非支配持分からの子会社持分取得による支出があったため、前年同期に比べ11億24百万円少ない174億57百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は698億53百万円の減少となり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,063億19百万円となりました。

(4) 今後の見通し

現時点におきまして、2021年5月10日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	71,402	68,965
売上原価	△11,488	△12,331
売上総利益	59,913	56,634
販売費及び一般管理費	△20,866	△21,750
研究開発費	△12,166	△14,729
製品に係る無形資産償却費	△808	△818
その他の収益	3,039	1,282
その他の費用	△536	△1,824
営業利益	28,575	18,794
金融収益	4,894	4,229
金融費用	△447	△82
税引前四半期利益	33,022	22,941
法人所得税費用	△8,524	9,256
四半期利益	24,497	32,198
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	24,495	32,238
非支配持分	2	△40
四半期利益	24,497	32,198
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	80.62	106.94
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	80.58	106.91

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	24,497	32,198
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	1,969	△4,685
確定給付制度の再測定	54	460
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,024	△4,224
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△2,211	5,448
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△1,370	513
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△3,581	5,962
税引後その他の包括利益合計	△1,557	1,737
四半期包括利益	22,940	33,935

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,937	33,847
非支配持分	2	88
四半期包括利益	22,940	33,935

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	90,883	91,601
のれん	9,357	9,409
無形資産	76,558	78,545
使用権資産	4,827	4,500
投資不動産	26,759	26,587
その他の金融資産	217,437	214,446
繰延税金資産	11,729	11,755
その他の非流動資産	5,200	5,322
非流動資産合計	442,754	442,168
流動資産		
棚卸資産	38,003	40,697
営業債権	78,047	75,218
その他の金融資産	142,151	210,011
未収法人所得税	164	1,848
その他の流動資産	21,697	24,091
現金及び現金同等物	276,173	206,319
流動資産合計	556,238	558,186
資産合計	998,992	1,000,354

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	13,733	14,531
自己株式	△57,989	△57,990
利益剰余金	752,248	768,358
その他の資本の構成要素	116,836	117,984
親会社の所有者に帰属する持分	846,108	864,163
非支配持分	18,442	17,732
資本合計	864,550	881,896
負債		
非流動負債		
リース負債	4,608	4,419
その他の金融負債	5,242	4,392
退職給付に係る負債	16,318	15,826
繰延税金負債	7,749	7,309
その他の非流動負債	341	355
非流動負債合計	34,261	32,304
流動負債		
リース負債	3,379	3,330
営業債務	9,902	9,915
その他の金融負債	21,383	22,566
未払法人所得税	28,033	11,219
その他の流動負債	37,481	39,122
流動負債合計	100,180	86,154
負債合計	134,442	118,458
資本及び負債合計	998,992	1,000,354

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	21,279	21,025	△77,292	708,291	91,848	765,152	51	765,203
四半期利益				24,495		24,495	2	24,497
税引後その他の包括利益合計					△1,557	△1,557		△1,557
四半期包括利益	-	-	-	24,495	△1,557	22,937	2	22,940
自己株式の取得			△2			△2		△2
自己株式の処分		△506	507			0		0
自己株式の消却		△30,912	30,912			-		-
配当金				△16,100		△16,100		△16,100
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				54	△54	-		-
その他		31,720		△31,231	△488	△0		△0
2020年6月30日残高	21,279	21,326	△45,875	685,509	89,747	771,987	53	772,041

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	21,279	13,733	△57,989	752,248	116,836	846,108	18,442	864,550
四半期利益				32,238		32,238	△40	32,198
税引後その他の包括利益合計					1,608	1,608	129	1,737
四半期包括利益	-	-	-	32,238	1,608	33,847	88	33,935
自己株式の取得			△1			△1		△1
配当金				△16,580		△16,580		△16,580
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				460	△460	-		-
その他		798		△8		789	△798	△8
2021年6月30日残高	21,279	14,531	△57,990	768,358	117,984	864,163	17,732	881,896

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	33,022	22,941
減価償却費及び償却費	3,630	3,746
減損損失	—	125
金融収益及び金融費用	△4,703	△4,063
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,952	3,682
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,976	△2,324
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△4,100	△2,745
その他	△7,279	△1,960
小計	19,546	19,402
利息及び配当金の受取額	11,930	10,755
利息の支払額	△25	△24
法人所得税の支払額	△17,165	△21,968
法人所得税の還付額	—	12,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,285	20,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69,077	△78,021
定期預金の払戻による収入	48,328	24,557
有形固定資産の取得による支出	△2,602	△1,699
無形資産の取得による支出	△685	△300
子会社の取得による支出	△3,221	—
投資の取得による支出	△29,066	△39,976
投資の売却による収入	22,168	22,000
その他	122	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,034	△73,413

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△905	△879
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△16,097	△16,577
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,575	—
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,582	△17,457
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△490	750
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△38,822	△69,853
現金及び現金同等物の期首残高	208,861	276,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	170,038	206,319

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

# 2022年3月期 第1四半期業績 補足資料

2021年8月2日  
塩野義製薬株式会社

## ① 事業別売上収益

(単位：億円)

	2021年上期 予 測	2021年度 予 測	2021年4-6月 実 績	2020年4-6月 実 績	対前年 増減額	対上期予測 進捗率
国内医療用医薬品	461 (△2.2)	944 (△0.3)	235 (5.1)	224 (△15.1)	11	50.9
サインバルタ	100	151	68	69	△1	68.1
インチュニブ	85	182	36	26	10	42.0
ビバンセ	4	10	1	0	1	37.3
感染症薬	48	170	21	21	△0	43.9
オキシコンチン類	26	50	13	14	△1	48.1
スインプロイク	13	31	6	5	1	46.1
アシテア	2	4	1	1	0	58.8
ムルプレタ	1	1	0	0	0	46.0
ピレスパ	18	35	10	14	△5	54.2
その他	164	309	79	73	6	47.8
クレストール	38	65	14	15	△1	37.8
イルベタン類	17	31	8	8	△1	47.1
海外子会社/輸出	122 (10.9)	311 (26.2)	93 (70.0)	55 (△49.1)	38	76.2
シオノギ Inc.	42	84	47	17	30	111.5
平安塩野義 / C&O	39	143	24	24	0	60.8
シオノギ B.V.	14	35	9	4	5	63.7
製造受託	74 (11.0)	178 (△9.7)	37 (30.2)	29 (17.6)	9	50.5
一般用医薬品	69 (25.1)	154 (31.8)	25 (9.0)	23 (26.1)	2	36.0
ロイヤリティー収入	617 (△20.2)	1,298 (△10.3)	296 (△22.1)	380 (△2.4)	△84	48.0
HIVフランチャイズ	608	1,252	288	310	△21	47.5
クレストール	-	11	-	56	△56	-
その他	9	35	8	15	△7	84.4
その他	7 (△12.8)	14 (△18.2)	4 (△17.3)	4 (△17.2)	△1	51.4
合 計	1,350 (△9.1)	2,900 (△2.4)	690 (△3.4)	714 (△11.6)	△24	51.1

注)1. ( )内 対前年UP%

- 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績
- 感染症薬の構成製品：ゾフルーザ、ラビアクタ、プライトボックFlu・Neo、フィニボックス、フルマリン、フロモックス、シオマリン、バンコマイシン、バクタ、フラジール、フルコナゾール、イソジン

## ② - 1 四半期別業績推移(四半期別事業別売上収益)

(単位:億円)

2021年3月期	2020年4-6月 実績	対前年 UP率	2020年7-9月 実績	対前年 UP率	2020年10-12月 実績	対前年 UP率	2021年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	224	△15.1	248	△1.2	247	△14.4	229	△12.1
サインバルタ	69	2.9	66	6.8	70	△4.2	60	△1.0
インチュニブ	26	42.2	34	30.1	36	36.3	35	△2.3
ビバンセ	0	-	1	-	1	1,586.9	1	1,827.2
感染症薬	21	△40.7	27	△26.5	27	△50.4	22	△32.4
オキシコンチン類	14	△17.3	14	△1.5	13	△19.9	12	11.2
スインプロイク	5	△7.9	6	9.2	6	22.3	6	4.7
アシテア	1	3.4	1	40.1	1	44.3	1	14.6
ムルプレタ	0	△26.3	0	△19.8	0	△28.6	0	△16.1
ピレスパ	14	△17.1	14	△18.2	12	△22.1	11	△38.8
その他	73	△28.4	85	△3.5	81	△16.2	81	△15.9
クレストール	15	△35.3	21	4.7	14	△34.2	16	△22.0
イルベタン類	8	△30.5	9	△11.4	9	△17.8	8	△23.1
海外子会社/輸出	55	△49.1	55	△18.5	65	0.1	72	5.5
シオノギ Inc.	17	△68.6	17	11.1	21	20.9	21	26.6
C & O	24	△37.5	19	△44.1	27	△11.5	31	6.6
製造受託	29	17.6	38	△50.1	36	88.0	95	68.9
一般用医薬品	23	26.1	32	23.4	33	27.3	29	8.3
ロイヤリティー収入	380	△2.4	393	△2.1	375	△26.0	298	△19.7
HIVフランチャイズ	310	△2.4	330	△0.7	311	△5.2	283	△6.7
クレストール	56	△1.6	56	△0.8	54	△0.4	△0	△100.0
その他	15	△3.6	8	△40.7	9	△92.5	15	24.1
その他	4	△17.2	4	△36.0	4	△33.0	5	26.2
合計	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6	728	△7.5

注)国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	235	5.1
サインバルタ	68	△1.5
インチュニブ	36	37.3
ビバンセ	1	436.2
感染症薬	21	△1.6
オキシコンチン類	13	△8.9
スインプロイク	6	24.8
アシテア	1	79.1
ムルプレタ	0	18.0
ピレスパ	10	△32.2
その他	79	8.1
クレストール	14	△7.7
イルベタン類	8	△7.3
海外子会社/輸出	93	70.0
シオノギ Inc.	47	182.7
平安塩野義/C&O	24	0.2
シオノギ B.V.	9	144.1
製造受託	37	30.2
一般用医薬品	25	9.0
ロイヤリティー収入	296	△22.1
HIVフランチャイズ	288	△6.8
クレストール	-	-
その他	8	△47.4
その他	4	△17.3
合計	690	△3.4

注)国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

## ② - 2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

2021年3月期	2020年4-6月 実績	対前年 UP率	2020年7-9月 実績	対前年 UP率	2020年10-12月 実績	対前年 UP率	2021年1-3月 実績	対前年 UP率
売上収益	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6	728	△7.5
売上原価	16.1 △115	△9.3	14.8 △114	△24.4	17.2 △131	0.6	22.8 △166	3.1
売上総利益	599	△12.0	657	△3.1	629	△19.5	562	△10.2
販売費及び一般管理費	29.2 △209	△9.5	28.9 △223	△5.5	30.4 △231	△3.9	35.3 △257	5.1
研究開発費	17.0 △122	4.2	16.5 △127	8.9	18.9 △144	24.8	20.6 △150	14.7
製品に係る 無形資産償却費	1.1 △8	△0.1	1.0 △8	△0.8	1.0 △8	△2.9	1.1 △8	△1.9
その他の収益・費用	25		△2		223		△24	
営業利益	40.0 286	△9.8	38.5 297	△5.8	61.7 469	7.8	16.9 123	△48.7
金融収益・費用	44	21.1	74	96.3	27	△71.0	110	0.1
税引前四半期利益	46.2 330	△6.6	48.2 371	5.1	65.3 496	△6.3	31.9 232	△33.4
税金費用他	△85	3.8	△93	15.2	△129	△1.2	△4	△94.2
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	34.3 245	△9.7	36.1 278	2.2	48.3 367	△8.0	31.4 228	△18.3

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率
売上収益	690	△3.4
売上原価	17.9 △123	7.3
売上総利益	566	△5.5
販売費及び一般管理費	31.5 △218	4.2
研究開発費	21.4 △147	21.1
製品に係る 無形資産償却費	1.2 △8	1.2
その他の収益・費用	△5	
営業利益	27.3 188	△34.2
金融収益・費用	41	△6.7
税引前四半期利益	33.3 229	△30.5
税金費用他	93	△209.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	46.7 322	31.6

### ③ 開発品(2021年8月2日現在)

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデロコルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国: Fetroja®] [欧州: Fetroja®]	細胞壁合成阻害 (注射)	他の治療がないまたは 限定される腎盂腎炎を 含む複雑性尿路感染 症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気 性グラム陰性菌による 感染症(欧州)	グローバル: フェーズⅢ (小児) 米国: 承認(複雑性尿路 感染症)(2019年11月) 米国: 承認(院内肺炎) (2020年9月) 欧州: 承認(2020年4月)	自社	自社
	S-033188 (バロキサビル マルボ キシル) [日本: ソフルーザ®]	キャップエンドヌクレア ーゼ阻害 (経口・顆粒)	インフルエンザウイルス 感染症	日本: 承認(体重20kg以 上)(2018年9月) 日本: 申請(体重20kg未 満)(2018年8月)	自社	自社/Roche (スイス)
	S-648414	未公表 (経口)	HIV感染症	米国・日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防	日本: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-217622	3CLプロテアーゼ阻害 剤(経口)	新型コロナウイルス感 染症の治療	日本: フェーズⅠ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸 塩) [日本: スインプロイク®] [米国: Symproic®] [欧州: Rizmoic®]	末梢性オピオイド受容 体アンタゴニスト (経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘 症(小児)	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表 (経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズⅠ 米国: フェーズⅡ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-010887	未公表 (経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表 (経口)	不眠症	米国: フェーズⅠ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	難治性・原因不明慢性 咳嗽	グローバル: フェーズⅡ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X <sub>3</sub> 受容体アンタゴニ スト(経口)	睡眠時無呼吸症候群	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表 (経口)	神経症状を伴う慢性腰 痛	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABA <sub>A</sub> 受容体ポジティ ブアロステリックモジュ レーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本: フェーズⅡ	Sage(米国)	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治 療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症 状(小児)	日本: フェーズⅡ	Akili(米国)	自社/Akili
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	脆弱X症候群	米国: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	アルツハイマー型認知 症	米国: フェーズⅡ 日本: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	代謝疾患	S-237648	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズⅡ	自社
ADR-001		ヒト他家脂肪組織由来 の間葉系幹細胞(注 射)	非代償性肝硬変	日本: フェーズⅠ/Ⅱ	ロート	自社/ロート
S-723595		アセチルCoAカルボキ シラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂肪肝 炎	日本: フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国:フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用 (吸入)	特発性肺線維症	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡, 糖尿 病性潰瘍)	日本:フェーズⅢ	ファンペップ(日本)	自社/ファンペップ
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	脳梗塞	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	表皮水疱症	日本:フェーズⅡ(申請準 備中)	ステムリム(日本)	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP+RPV*3 LAP 2剤療法) カナダ:承認(2020年3月) 米国:承認(2021年1月) 欧州:承認(2020年12月) (CAB LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare	治療:ViiV Healthcare(英国) 予防:ViiV、HPTN、 NIAID、Gilead(米 国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅢ(申請準備中)	自社	キッセイ薬品(日 本)
S-033188 (バロキサビルマル ボキシル) [米国:Xofluza™]	キャップエンドヌクレ アーゼ阻害 (経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:承認(2018年10月) 米国:承認(ハイリスク患者)(2019年10月) 米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) 米国:承認(顆粒、12歳以上)(2020年11月) 米国:承認(予防投与、12歳以上)(2020年11月) 欧州:承認(治療、12歳以上)(予防投与、12歳以 上)(2021年1月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche(スイ ス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DP1受容体拮抗 (経口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge(米国)

\*1 Long acting parenteral formulation、\*2 Cabotegravir、\*3 Rilpivirine

2021年5月10日からの変更点

ステージの変更	SR-0379(皮膚潰瘍):日本:フェーズⅡ→フェーズⅢ
開発品の追加	S-217622(新型コロナウイルス感染症の治療):日本:フェーズⅠ